

抜けているのでは!?

1市3町合併を求める請願審査のため、31日に彦根市臨時議会が開かれます。昨年11月、中島市長の合併断念表明を受け、いったんは「当面単独運営」で落ち着いたところに、今回の請願は様々な波紋を広げています。紹介議員になりながら、請願不採択と読んだ議員から、豊郷町抜きの「1市2町合併」を求める決議案が提出されるかもとの情報がとびかつかうなど、特例法期限内の終盤で迷走が続きます。

1市3町合併協議は肝心なテーマを避けてきた

いま、彦根市内に読者を持つ近江同盟新聞が注目されています。連日、合併に関する賛否両論の「紙上討論」が盛んです。西澤議員も過日投書。

投書の主な内容は、合併協議会の確認にも反する道理のない請願提出の「お手伝い」をした市会議員を批判。さらに「タブー」にしばられた協議と切り切つても過言ではない。」として、豊郷小学校問題が新彦根市に引き継がれる事実を当事

者から語られていないこと、法が失効した同和対策事業を豊郷、甲良は「継続」としていることが公開の協議にあげられていない、と提起。市民・町民の重要な関心事を委員の誰一人として語らない問題点を指摘。そして、そのまちが抱える課題は合併したからといって解決できるものではない。行政と住民の努力で解決しなければならぬことを痛感している。」と結んでいます。

合併問題緊急報告集会開く

請願反対意見が続出

爆弾発言も



彦根市と犬上郡三町の特例法期限内合併を求める請願が三十一日の市議会臨時三町との合併反対は昨年二月の住民意向調査や十一月の市長断念表明で明らかになっており、今回の請願は市民の多くの声を無視し、市長の断念判断を尊重しないものとする批判の声が相次いだ。

願の決着直後から表面化すると見られる四月の市長選との関連発言も続出。さらに市議や町議の議員からは、合併協議や市長判断に至る経過、町側の内情などについて、今までウワサや水面下で流れていた重大な事実を明らかにする「爆弾発言」も飛び出し、参加者の関心を集めた。

「本紙では参加者の各発言や情報の確認がとれ次第、今後、記事にしていく方針です」(山本進一記者)

会で審議されるのを前に、二十七日夜、市文化プラザで「合併問題緊急報告集会」が開かれた。写真。市民や三町の住民ら約五十人が参加し、出席した市議四人が今までの経過や請願に対する見解を発表。続いて参加者が質問や意見を述べた。市議や参加者からは、

「合併促進請願」審議のための彦根市臨時議会

1月31日(月)9:30開会
ところ：彦根市役所5階

請願 決議をめぐる、1市3町の枠組みか、「豊郷町を除く」か、はたまた米原市との復活ありか、1市5町か、大波乱が予想されています。だれでも傍聴可能です。

政治革新の道しるべ
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん赤旗

日刊●月2,900円
日曜版●月 800円

甲良民報

2005年1月30日 No.273
発行責任：日本共産党甲良町支部
代表：西澤伸明 甲良町在土463
Tel.Fax38-4949

Eメール info@jcp-nobuaki.com
のぶあきホームページ
<http://www.jcp-nobuaki.com/>

「しんぶん赤旗」の購読をおすすめします。

「戦争と平和」考える特集 NHKと自民議員のただならぬ関係

「しんぶん赤旗」日曜版1月30日号は、「戦争と平和」を考える企画を特集しました。

1面は、3月完成の平和アニメ「あしたの元気にな〜れ!」で顔合わせしたエッセイストの海老名香葉子さんと、吉永小百合さんが登場。アニメの原作者で、10万人もの命が奪われた東京大空襲で肉親6人を失った海老名さんと、女優業のかたわら原爆詩の朗読を続ける吉永さんの、とっておきの話です。

ドイツ・ナチスによるユダヤ人大量虐殺のアウシュビッツ強制収容所解放60周年を迎えた欧州が戦争犯罪にどう向き合っているか。英国王室をも巻き込んだ騒動を通じて特派員



がルポ。

福島・白河市にある平和博物館の話題も紹介しています。

自民党政政治家による、NHK番組への政治介入問題追及の第2弾は、番組の事前説明は「通常の業務遂行の範囲内」と明言するNHKと、自民党議員とのただならぬ関係の徹底検証です。

好評の「シリーズ日本の食」は、「映画『スーパーサイズ・ミー』から見えてきたファストフードの怖さ」、サッカーアジア最終予選の初戦相手、北朝鮮チームの戦力分析(スポーツ企画)など話題満載です。

日曜版30日号

「データで訴えろ」
「データ」を示せ。ただ「合併反対」と言っただけでは、犬の遠吠えや。合併したところの数字があるやろ。それを書かんかい」と、ある町民からご意見をいただきました。合併して数年が経過した自治体の資料を調査し、特集でお知らせできるようにします。